

プレゼンテーション資料

RIETI & EBPM

矢野 誠

RIETI所長 · CRO/京都大学経済研究所教授

RIETI EBPM シンポジウム

RIETI & EBPM

RIETI 所長 京都大学教授 矢野 誠

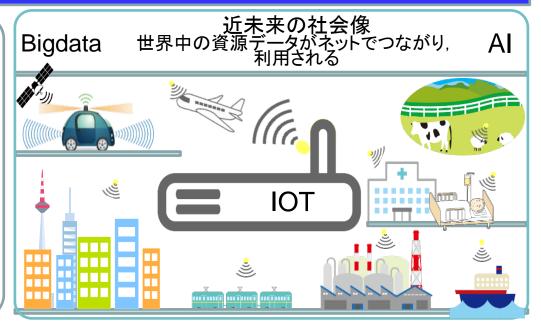
現代の世界の潮流は社会のエビデンスベース化. 日本は立ち遅れている

エビデンスベース:単なる根拠ではない

汎用的で高精度なデータを用い, 社会を正確に観察し, 因果関係を解明する時代が到来

これは比較的新しい潮流

- ・エビデンスベース・メディスン(1980年代)
- ・エビデンスベース・ポリシー (2000年代 はじめに, 英国のブレア首相によって推進)



これからは、IOTによってさまざまな経済活動のデータを集め、Bigdataとして、AIで分析し、IOTを通じて、分析結果を経済活動に反映させる時代がくる こう そういう社会では政策のあり方も変わらなくてはならない

EBPM (Evidence-based Policy Making)

- 1. データの収集・分析を通じた事実と政策課題の把握
- 2. 政策目的の的確な認識
- 3. 政策とその効果の間の因果仮説構築・因果関係把握を通じてなされる 政策の評価・改善

各府省は、EBPM推進に係る取組を総括するEBPM推進統括官を設置

エビデンスベース人間科学

理論・データ構築・実証の三位一体 自らの理論にもとづいて、データを構築し、実証する

労働経済学、経済政策論

日本学術会議マスタープラン2017重点大型計画

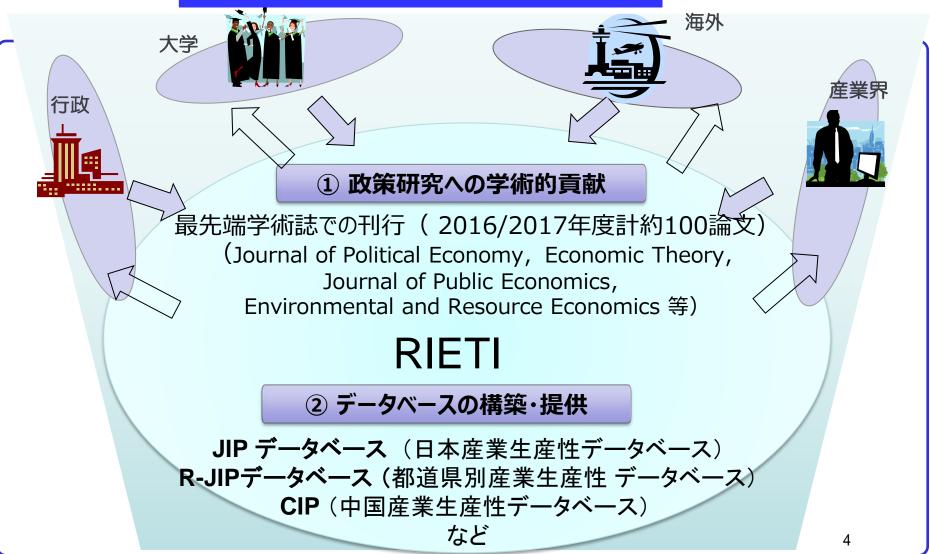
新しい社会科学としてのエビデンスベース人間科学の確立 とネットワーク型大規模経年データの構築

マスタープラン2014 重点大型計画 危機後を支える社会インフラと真の豊かさを実現する <u>エビデンスベース・ポリシー研究と社会科学</u>データ網構築の連携拠点

RIETI (創立2001年)

エビデンスベース・ポリシー研究の国際的拠点

EBP研究とEBPM: 医学の基礎と臨床



RIETIにおけるEBPMの推進

- 来年4月にRIETI内にEBPM推進チーム発足。
 - これまでの学術的な視点でのEBP研究に加え、
 - 政策に直結したEBPMの強化を図る。

- 1. 政策実務者と政策志向の研究者とのハブ機能
- 2. 政策形成過程におけるコンサルティング機能 先行研究の紹介、分析方法等に関する助言等
- 3. 政策効果の事後評価機能 政策実務者と共同での実証分析
- 4. EBPM人材の育成